

科目名(副題)	開講年次(セメスター)	単位	担当者名
各国映画への招待 現代日本映画への招待	2～4年次春学期 (3・5・7セメスター)	2	山崎 敦
科目ナンバリング			
Z1-ARL-201-J			
授業概要・目的			
<p>映画が誕生したのは19世紀末のことです。</p> <p>それ以降、サイレントからトーキーへ、モノクロームからカラーへ、映画は変貌を重ねました。</p> <p>21世紀に入るとフィルムからデジタルへと撮影技術も一変しました。</p> <p>最近では従来の映画館・テレビ・DVDにweb配信が加わり、鑑賞の仕方も多様化しています。</p> <p>ところで、リュミエール兄弟の『工場の出口』（1895年）以降、これほどムービー（動画）にあふれかえっている時代はありません。</p> <p>履修者全員がスマホで動画を撮影したことがあるだろうし、YoutubeやTikTokなどで、毎日浴びるほど動画を見てもいいのでしょうか。</p> <p>つまり、だれもが簡単に動画を撮影できるし、だれもが簡単に見られる。</p> <p>しかし「映画」を見ることは、そんなに簡単なことでしょうか。</p> <p>スマホで一度でもムービーを撮影したことがあれば、撮影がどんなにむずかしいか、否応なく思い知らされるはずです。</p> <p>きっと見ることも、むずかしいのではないか？</p> <p>そう思い知ることから真に「映画」を見ることがはじまります。</p> <p>この授業では、21世紀の日本映画を題材にして、映画をいかに見るのか実践的に学びます。</p> <p>映画を「見る」ことを学ぶには、映画を「語る」のが、なによりの近道です。</p> <p>語りながら見方を鍛え、見ながら語り方を鍛える――</p> <p>そのためにペアワークやグループワークを軸に授業を進めます。</p>			
学修到達目標			
<ul style="list-style-type: none">・ 映画作品を分析・解釈するためのリテラシーを身につける。・ 映画作品を批判的に考察し、みずからの考えを述べることができる。・ 同一の研究対象（映画作品）をめぐって、他者と討議できるようになる。			
授業方法			
<p>【面接授業】</p> <p>すべての回を対面で実施します。</p> <p>本授業は毎回、</p> <ol style="list-style-type: none">1) 映画鑑賞2) ペア/グループ・ワーク3) 全体での討議 <p>以上の三つのステップを踏みます。</p> <p>つまり1) は前段に過ぎず、2) と3) への参加が不可欠です。</p> <p>扱う予定の映画監督は、つぎのとおりです。</p> <p>黒沢清（1955-）、是枝裕和（1962-）、岩井俊二（1963-）、青山真治（1964-2022）</p> <p>濱口良介（1978-）、三宅唱（1984-）、小森はるか（1989-）</p> <p>履修者へのアンケートや、授業中の討議を踏まえ、扱う監督・作品を柔軟に変えます。</p> <p>したがって、下記の「授業計画」に示した監督・作品は仮のものに過ぎません。</p>			
活用される授業方法			
成績評価方法・基準			
<p>課題・レポート（70%）</p> <p>討議への参加度（30%）</p>			
教科書・教材・参考文献 等			
<p>【教科書・教材】 教場で指示します。</p> <p>【参考文献】</p>			

質問への対応(オフィスアワー等)
教室で対応します (MaNaBoメールでも対応します)。
履修者へのコメント
1) 毎授業後、MaNaBoで課題を課します。この課題の期限内の提出を以て授業の出席とみなします。 2) この授業では毎回、ペア/グループ・ワークを行います。 3) この授業は「集団的な映画批評」の試みであり、全体での討議に参加する姿勢が問われます。 これをよく踏まえて履修するかどうか決めてください。
事前事後学習
映画館でも、DVDでも、テレビでも、動画配信でも、媒体を問わず、一本でも多くの映画を見てください。 「媒体を問わず」と書きましたが、やはり劇場公開は特別です。 映画館でしか見えないもの、体験しえないものが、たしかに映画にはあるからです。

科目名(副題)		開講年次(セメスター)	単位	担当者名
各国映画への招待 現代日本映画への招待		2～4年次春学期 (3・5・7セメスター)	2	山崎 敦
授業計画				
No.	項目	内容		
1	イントロダクション	授業の進め方について、映画に関するアンケート		
2	是枝裕和	『怪物』1		
3	是枝裕和	『怪物』2		
4	是枝裕和	『怪物』3		
5	濱口亮介	『寝ても覚めても』1		
6	濱口亮介	『寝ても覚めても』2		
7	濱口亮介	『寝ても覚めても』3		
8	岩井俊二	『リップヴァンウィンクルの花嫁』1		
9	岩井俊二	『リップヴァンウィンクルの花嫁』2		
10	岩井俊二	『リップヴァンウィンクルの花嫁』3		
11	岩井俊二	『リップヴァンウィンクルの花嫁』4		
12	三宅唱	『ケイコ 目を濡して』1		
13	三宅唱	『ケイコ 目を濡して』2		
14	三宅唱	『ケイコ 目を濡して』3		
15	まとめ	レポート提出		